

成人看護方法論Ⅱ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小松 恵 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

・学習方針（講義概要等）

成人看護学概論を基に、成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた方法論を学ぶ。具体的には、急性期にある患者の事例を通して、身体的・心理的・精神的側面からのアセスメントの実施方法、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学の知識を統合して、看護過程を展開する方法を学ぶ。その際、最新研究から得られた知見を用いて、科学的根拠を持った看護ケアを提供することを想定した事例を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な知識・技術を、事例を用いて修得できるようになる。クリティカルケア及び周手術期にある者へ質の高い看護を提供するために必要なコミュニケーションスキルに関する知識・技術を修得できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 5, 6, 7

・到達目標（SBO）

1. 成人期にある者及びその家族等を対象とした急性期看護の特徴を述べることができる。
2. クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学及び発達段階に関する知識を用いて、患者の潜在的・顕在的な健康問題を説明することができる。
3. 急性期にある患者及びその家族等への看護過程の展開ならびに具体的な援助方法について、科学的根拠をもとに述べることができる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室、(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/14	木	3	共通基盤看護学講座	武田 邦子 講師	<p>周手術期の看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術による患者の変化について述べることができる ・手術室看護師の役割について述べるができる ・周手術期の看護について述べることができる
4/20	水	3	共通基盤看護学講座	武田 邦子 講師	<p>周手術期の看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術前の看護について説明できる ・術中の看護について説明できる ・術後の看護について説明できる
4/22	金	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>急性の脳・神経機能障害のある患者への看護過程①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・開頭腫瘍摘出術を受ける患者の看護過程が説明できる
4/26	火	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>急性の脳・神経機能障害のある患者への看護過程②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・脊髄損傷の患者の看護過程が説明できる
4/28	木	2	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	<p>急性の呼吸・循環機能障害のある患者への看護過程①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・肺葉切除術を受ける患者の看護過程が説明できる

5/9	月	2	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	<p>急性の呼吸・循環機能障害のある患者への看護過程②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・冠動脈バイパス術を受ける患者の看護過程が説明できる
5/10	火	2	共通基盤看護学講座	武田 邦子 講師	<p>急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者への看護過程①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養摂取機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・胃切除術を受ける患者の看護過程が説明できる
5/12	木	4	共通基盤看護学講座	武田 邦子 講師	<p>急性の栄養摂取・消化機能障害のある患者への看護過程②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・胆嚢摘出術を受ける患者の看護過程が説明できる
5/16	月	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	<p>看護過程の展開：グループワーク① 急性の…内部環境調節機能障害／運動機能障害／排泄機能障害／性・生殖機能障害／感覚機能障害…のある患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に割り当てられた急性の機能障害について述べるができる ・グループ毎に割り当てられた手術を受ける患者の看護過程が説明できる

5/16	月	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	<p>看護過程の展開：グループワーク② 急性の…内部環境調節機能障害／運動機能障害／排泄機能障害／性・生殖機能障害／感覚機能障害…のある患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に割り当てられた急性の機能障害について述べるができる ・グループ毎に割り当てられた手術を受ける患者の看護過程が説明できる
5/19	木	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>急性の生体防御機能障害・感染のある患者への看護過程①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生体防御機能障害のある患者および家族の特徴について述べるができる ・造血幹細胞移植を受ける患者の看護過程が説明できる
5/23	月	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授	<p>急性の生体防御機能障害・感染のある患者への看護過程②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染のある患者および家族の特徴について述べるができる ・敗血症性ショックの患者の看護過程が説明できる
5/24	火	3	共通基盤看護学講座	小坂 未来 講師	<p>急変時の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショックについて説明できる ・救命救急処置について説明できる ・急変した入院患者への対応について述べるができる ・集中治療下での看護について述べるができる

5/30	月	1	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	看護過程の展開：プレゼンテーション① 急性の…内部環境調節機能障害／運動機能障害／排泄機能障害／性・生殖機能障害／感覚機能障害…のある患者の看護 ・他のグループに割り当てられた急性の機能障害について述べるができる ・他のグループに割り当てられた手術を受ける患者の看護過程が説明できる
5/30	月	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師	看護過程の展開：プレゼンテーション② 急性の…内部環境調節機能障害／運動機能障害／排泄機能障害／性・生殖機能障害／感覚機能障害…のある患者の看護 ・他のグループに割り当てられた急性の機能障害について述べることができる ・他のグループに割り当てられた手術を受ける患者の看護過程が説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第3版	林直子他編著	南江堂	2019
教	看護学テキスト NiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護 クリテ ィカルケア 第3版	林直子他編著	南江堂	2019

・成績評価方法

定期試験 70 点、授業内で課すレポート 10 点、グループでのディスカッション状況・成果の発表 20 点
合計 100 点により評価する。

・特記事項・その他

<p>【事前事後学修の具体的内容及び時間】 各回到達目標の内容に関し教科書を用いて調べる。各回最低30分以上を要する。</p> <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 グループワークを取り入れ、伝える力の強化を図る。 プレゼンテーションを実施する機会を設け、発信する力の強化を狙う。 提出されたレポートは、評価後適宜コメントを付し、返却する。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師（別表3）：専門分野Ⅱ 成人看護学</p> <p>【その他】 問題を学生同士で考える時間を設け、全体及び個々の理解を深める。 授業前に Web Class 上でアンケートを課す場合がある。 コメント・ペーパーの提出をもって出席とみなす。 途中で退室して、コメント・ペーパーの記入をしていない、及び、提出されていない場合は、欠席扱いとなる。 授業に関する Q&A はコメント・ペーパーを活用し、全体に伝えるべき内容は次の授業で話題とするか WebClass 上に掲示する。 能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	デスクトップパソコン (HP ENVY Desktop TE01-1104jp)	1	講義資料の作成等